

平成25年度

橋梁技術発表会及び講演会

— 100年橋梁を目指した技術 —

参加費無料
定員 **250** 名
申込先着順

会場 レソラNTT夢天神ホール5F
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-5-55
Tel.092-781-8888

平成25年
日時 11 / 22 (金)
13:00~17:05

13:00~13:10 開会の辞 一般社団法人 日本橋梁建設協会
副会長・専務理事 下 保 修

13:10~13:40 橋建協報告
いい橋つくろう
橋梁技術発表会実行委員会

第1部:技術発表会

13:40~14:20 1.若戸大橋ケーブル関係の健全度調査および補修工事
—建設後50年経過した長大吊橋のケーブル関係の保全—
技術委員会 設計小委員会 杉山 直也

14:20~14:30 休憩

14:30~15:10 2.耐候性鋼橋梁の損傷分析とさび外観評価システムの提案
技術委員会 製作小委員会 阿部 浩志

15:10~15:50 3.第二音戸大橋 空中ジョイントによる大ブロッカー括架設
技術委員会 架設小委員会 大野 勝

15:50~16:00 休憩

第2部:特別講演会

16:00~17:00 1.道守養成講座と光学的手法による新しいインフラ点検手法の開発

長崎大学 工学研究科構造工学コース
教授 松田 浩



17:00~17:05 閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会 委員長 上原 正

申込方法

- ①Fax. 092-475-6255(裏面の用紙に記載)
②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月下旬から)

申込期限 平成25年11月8日(金)

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19
(サンライフ第3ビル)川田工業内 Tel. 092-475-6255

継続教育 CPDS認定予定

※東京地区は 10月11日(金) 銀座プロッサムホール
大阪地区は 10月18日(金) ドーンセンター
北海道地区は 11月 1日(金) ホテルモントレエーデルホフ札幌
東北地区は 11月 8日(金) 仙台国際センター
中部地区は 12月 6日(金) 東建ホール 開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたはダウンロードお願いします。

アクセス



- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩2分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- 天神バスセンターから徒歩3分

1 若戸大橋ケーブル関係の健全度調査および補修工事

ー 建設後50年経過した長大吊橋のケーブル関係の保全 ー

若戸大橋は、我が国最初の長大吊橋として1962年に完成し、北九州工業地帯の基幹インフラとして、また若松区と戸畑区を結ぶ市民の生活道路としても大きな役割を果たしてきた。この若戸大橋において、ケーブル関係の健全度把握のための調査および補修工事を今回行った。

主な内容は、①主ケーブルの深部現状調査、②ハンガーロープの一部取替え、③ケーブルバンドボルトの全数取替えである。特に主ケーブルについては、ケーブルバンド部において素線の破断が見られ、その原因を明らかにするため詳細調査を実施した。

2 耐候性鋼橋梁の損傷分析とさび外観評価システムの提案

当協会では、耐候性鋼橋梁の使用開始初期から実橋調査を継続して行っている。これらの橋梁の中には、保護性さびが生成されず損傷を起こしている例が少なからず報告されている。そこで、調査データを分析することにより損傷の状況とその支配的な要因を明らかにする。また、実際の実橋調査の際に、さび外観の評価が難しいとの意見を受けて、さびを模して作成したサンプルと誰でも閲覧可能な画像のデータベースによるさび外観評価システムを試用開始したので紹介する。

3 第二音戸大橋 空中ジョイントによる大ブロック一括架設

中路アーチである第二音戸大橋の中央径間(鋼中路式ニールセンローゼ橋)は、最初に陸上部を地上に設置したベン
ト設備上に架設し、その後海峡部をFCによる大ブロック一括架設にて施工した。

一括架設は、大ブロックをFCにて吊り上げた状態で直接陸上部アーチ仕口と空中ジョイント(ボルト接合+ジャッキ)する工法を採用した。この海峡部大ブロックの、地組後の海上輸送および一括架設時に行った工夫について述べる。

特別講演会

1 道守養成講座と光学的手法による 新しいインフラ点検手法の開発

松田 浩

長崎大学
工学研究科構造工学コース
教授

ー略歴ー

昭和57年 九州工業大学大学院修了
昭和57年 長崎大学助手
昭和63年 長崎大学講師
平成 3年 長崎大学助教授
平成15年 長崎大学教授
平成19年 長崎大学工学部インフラ
長寿化センター長
現在に至る

ー専門分野ー

構造力学
鋼構造学
コンクリート工学
維持管理工学

工学博士

講演概要

長崎大学では「インフラ長寿化センター」を設立し、インフラ長寿化に関する教育・研究を行っている。膨大なインフラを維持管理していくためには、維持管理手法の抜本的な見直しが不可欠で、産学官民連携による維持管理体制の構築、および最先端機器開発とICT利用が解決策としてあげられる。

本講演では、社会人の学び直しと産学官連携による点検活動のための「道守養成講座」の実施内容と、光学的手法に基づく最先端点検技術を用いたインフラ構造物の劣化・診断技術の研究開発例を紹介する。

FAX番号:092-475-6255

平成25年度

11月22日(金)

橋梁技術発表会

[九州地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無